

日時：令和6年10月2日（水）

場所：平館高等学校 研修ホール

出席者：15名

- ・委員10名（3名欠席）
- ・オブザーバー参加1名
- ・学校側4名

1 校長あいさつ

2 授業見学〔2校時の授業〕

3 報告・共有事項

(1) 「いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業」、「地域との協働による事業」等に関する取組状況について

(2) 中学生一日体験入学実施報告

(3) 市との協力体制について

(4) 市長とのフリートーク参加報告

(5) R6年高校コーディネーター研修について

(6) その他

(1)(2) 「いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業」、「地域との協働による事業」等に関する取組状況について、中学生一日体験入学実施報告について

・副校長から報告

・7ページの体験入学者数が載っていますよね。市内の中学生の母数は何人くらいになるのか。何%位の参加になるのか。 (E委員)

・すみません。手元に資料がなく即答できません。 (事務局)

・Nオブザーバー、わかりますか？ (E委員)

・これは三年生対象ですか。 (Nオブザーバー)

・中学生対象なので1～3年生全員が対象としていて、3年生には限定はしていません。 (事務局)

・西根中学の三年生は74です。二年生は65。一年生は81です。 (B委員)

・もっと地元から参加があるとすごいありがたいなというふうな気持ちです。ありがとうございます。半分ぐらいに減ってしまった要因なんていうのはなにか考えられますか。

(E委員)

- ・盛岡市内の普通高校で体験入学の日がかぶっていたっていうのもありました。盛岡農業高校さんとはかぶらないように日程調整はしていたのですが。盛岡市内の普通高校さんの方に流れたりもしたのかと分析しております。(事務局)

- ・ちなみにどちらの学校 (E委員)

- ・一高、三高はこの日だというふうに伺っています。来年度の日程のところではなるべく被らない日程を探したいと思っております。(事務局)

(3) 市との協力体制について

- ・校長から報告
- ・課題を焦点化していただくのであれば、県外生入学の獲得という点と、あとは市内中学生の入学生増に向けてといういずれも入学者増というところが課題となっております。そういったところで今までの活動を踏まえて何かご意見等を伺えればというように思います。(L委員)

- ・この会で話されたことがどういうふうにして生きていくのかっていうのがまず第一で。協議会のもとで皆さんの総意、皆さんこういう話が出たということが教育委員会の中でとか企画した市の企画・財政のところまた教育長のところの中でどういうふうにならっていくのかというのはすごく大事になってくると思います。一つの考え方でこうだと決めつけることではないんですけどもいずれアクションとしてこういうことが起きたっていうことはいろいろ広げていくのかなと思っていましたので、まあそういう観点から。一つの入り口として中学校の先生たちの認識っていうのがたまたまこの体験入学の7ページのところで数字に出たのであれば、やはり日程はある程度調整しなければなかったんだというところもあると思いますし。次の10ページの中学校の先生方からの中でも何が、平舘高校の情動的なところが他校の方法より薄いのかなというところも見ながらですね。ただ、一方でやってるのはすごい他の高校よりやって、盛岡の進学校は就職よりは進学だというところで、また進めているようなところもあろうかと思えますけど平舘高校については鈴木絵美さんはじめ、いろんな方が入りながらいかに世界一になる人間なりというところを目指したっていただいているのが子どもたちとか先生たちに、中学校の先生方、PTA、中学校のお子さんを持っている親御さんたちに伝わらないとならないというのが感想でございます。みらい留学につきましても、市の企画財政から泊まれるところ、どこかないのかという話もありましたけれども入ってくる人たちが気軽にこれる、それには平高ならではの

の何かがやっぱらないと誰もこのここままでに来ないだろうし、ここに何を求めてくるのかなというところについては、普通科もそうなんでしょうけど、家政科学科の取り組みはすごくやられてるなというところですね、またその授業がフレンドリーに行われているというところもありますから、そういうところをこう強みを活かして出していけばいいだろうな、見える化しながらそれはクラウドファンディングで市と協力しながらやっていければと思います。(E委員)

- 17 ページにあるような知っているものを選んでくださいと言われたときに、ムラサキに関してとか家庭クラブに関して数値が高いものに関してそうなんだではなく意外とそれはどこかでなんとなく聞いたという場合もある。せつかくこのアンケートを取ったのだからそれをもうちょっと深く見てもらって、じゃあこの数値の高いところも見える化、伝える化していかないとなかなか定着もしていかないし、これをやることで市内の保護者中学生にも伝わるものに見える化していけると思います。見える化をしとけばその地域みらい留学の時の仕事デビュー営業材料というか、PR材料にもなっていくのでそういったところにも力を入れて行かなければいけないなというふうに感じています。で進学率みたいな形でいくと、そもそもまあここは生徒数が少ない中で四大に行ってる子の割合的には、全体で見ると人数的には少ないけど手厚く進路実現している子っていうのは約60%ほどいらっしゃるんで、そういったところも伝わるような取り組みをしていくかなければいけないなというふうに思っています。地域みらい留学に関していろいろな情報収集はしているんですけども。特に女子生徒の保護者さんこれはやっぱり生活する場所でしょ？ やっぱりその場で何が学べるかというところですかね、それから見えてこないとまあ決め手にならないという話も各方面から聞いています。学校自体がもう少し地域に対しても深く関わっていかないといけないし、あと口コミというところも多かったんで、なんとくの口コミで出るっていうのが多いんですよね。15 ページですね。それとなく聞こえてくるところは、やっぱりその保護者とか。地域の人たちとかの口コミなのでしょうから例えばここではPTAとかでもやっぱりすごいこの高校、いいよねというふうに言ってくれる方たくさんいたので、ひつつみのときです。このひつつみレンジャーに参加した時に平高の良さを伝えてくれる保護者さんすごくたくさんいらっしゃったのでそういったところにその口コミの力ってあの観光関係でよく最大だよって言われるぐらいなので、マイナスの口コミよりプラスの口コミというのを広げられるような取り組みを保護者だったり中学校とか小学校の親御さんたちに伝わるような形に持っていければいいのかなと思って

います。

(F委員)

- ・ロコミを広げるっていうのがいいなと感じました。それに関してこういうところ協力できますよとかこういうアイデアどうですかみたいなものある方いらっしゃいますか

(L委員)

- ・10月末に学校公開ありますよね？平館高校の学校公開ありますよね。私小学校のコミュニティースクールのコーディネーターであったりPTAの副会長もやっていますが、小学校の保護者さんがどうしても来るきっかけがないから学校公開来てくださいますかといっても絶対保護者って来ないので、ちょっと一緒に行ってみない？っていうような案内役を借りて、ちょっとこう知ってる保護者さんを集めて授業の感じとか、在宅でポンポン雰囲気を知ってもらえたらいいのかっていうちょっとアイデアを案であれば、小学校との連携というよりはPTA連携みたいな形になってくると思う。そうやってこう見てもらう実際感じてもらうことは必要かなと思っている。あと紫薫祭があるので、そのPR。まあ、私個人としてはそのことをちょっとして自分なりに動ける場所ではしたいなと思っています。

(L委員)

- ・保護者を集めて見てもらうために何かできそうなことみたいな何かアイデアありますか。広報がすごく見られているっていう情報ありましたよね。広報にちょっと載せてもらえないか、広報を使ってもっと保護者にアピールできるようなコラボ欄を作ってみるとかその辺ちょっと今年できるかどうかは別なんですけど、やはり市と連携してっていうところに何か、今平高の生徒さんのアピールとか紹介みたいなコーナーがあると思うんですけどここにもう一つワンステップみたいな、将来の生徒候補さんとかの学生さんの親に刺さるような、何て言うんでしょうかね学校の魅力発信、今日はこういうことしまたじゃないですけど発表できるような情報発信の仕方だったりっていうものを何か工夫できたら、それはそれでここ見てる人が多いから、そこになんか刺さる施策とかを入れてきたらどうか。そういう話はいかがでしょう？何か市としてはそういうものの対応をするのは難しいでしょうか。

(L委員)

- ・広報担当ではないのでなんとも言えないんですが、ここであつたお話は伝えていきたいと思います。

(A委員)

- ・平高通信のページは私と市の広報担当のところでこう記事のやり取りをしているので、その中でトピックス的なものを発行される月を意識しながらやっていくっていうのは可能だと思うので、あと同窓会ともうまく連携させられないかな話もあつたので、発信の仕方を広報でQRもさらに見やすく目立つようにうまくレイアウトしても

らうのは可能だと思います。今月号は決裁下りた直後ですので来月以降に。あと8月9月のところでは、あの制服補助については掲載させていただいて、新入生とか、在学中に一回ですけども、男子3万円、女子4万円を上限にということで制服補助については案内させていただいてましたので、これからもそういった家庭への負担軽減の補助のところとかは案内できたらいいのかなというふうには思ってます。(事務局)

- ・アンケート、忙しい中にとって大変いいデータだと思うんですけども、今お話しがあった広報については市内の方々が見る方のどういう方が見てるかっていうと多分ですね中高年から上の方が多んじゃないかと思うんですね。逆に若い人や小さいお子さんを育ててる人は、インターネットとかホームページとかそっちを見るんだと思うんですね。広報も大切なんですけども、やはり前回もお話しましたが、情報発信SNSとかホームページとか、情報を伝える層を考えているような形でやっていかないと、やはり次の世代の人たちの方にアピールする度合いあの低くなる可能性があるもので、広報だけに頼らず、そこはちょっと分けてやったほうがいいと思います。前回もお話しましたが八幡平市のホームページ、教育委員会のホームページ、毎回私見てるんですけども、平高についての記述はすごく少ないですよ。前も話しましたが、花巻市とか遠野市とかそういうところはですね、学校を残そう、地域の高校を残そうという形で毎回発信して記事が出てくるんです。そういう点で前回も市として、教育委員会としてそういうやつをきちっと載せて欲しいって発言したんですけど、今回までも何回も見てるんですけど、載ってないんですよ。ですから大変申し訳ないんですけど、本当に市として本気度もあるのかなと大変失礼ですけど思うようなところも実はあります。やはり私、毎回県外留学についてお話させていただいてるんですけど。6月の運営委員会以降にあの日報に出た学校の特色化と県外留学についての記事が3つ載っています。ある高校については書いてあるようにあの統廃合の規定については満たしていて、逆にこう定員を増やすにはどうしたらいいかというような話に移っている。しかも今度は対策委員会もレベルアップしてやっています。学校だけじゃなくて、町全体で取り組んでいる、継続してやってるって。その高校の発表については多分PTAの方や校長先生とか出られて聞いてると思いますので、前も話しましたが、そちらに実際に行って具体的なノウハウとか、実際はその発表はしてないけど、本当はこういうことは大変だったとか、こういう手が必要でっていうのの情報収集はやっぱりやるべきではないかなと思っています。二ページ目で特にあの県立高校の魅力の工夫を共有とありますが、そこの中に書いてある下の段のほうに書いてあり

ますけども、やはり地域に発信するのが大切だし、地域の方々が残そうという動きをしなきゃ無理ですって書いてあります。だからこれはやっぱり事実だと思いますね。私も高校の校長をしましたが学校だけ特色作りしてもそれは無理です。やはり地域の方々は本当に平高を残そうという形でみんなで一生懸命なって協力してやっていると機運が上がらない。大変申し訳ないですけど、校長先生も何年かすると転勤とか退職しなきゃいけない、次の校長にバトンタッチする。けどもやはり県立高校としての動きが制約があります。それをバックアップできるのが地域の方々、または市とか町の役場、市役所なんですね。それがないとやはり三者うまく連携しないと平高を残したいねという話だけで終わっちゃう。前も話しましたが、動かないとものは進みません。失敗するんじゃなくて、その課題を乗り越えていくことが大切です。そうしないとやってダメだ、ダメなんじゃないかで終わってしまい、全然地元は変わらない前に進まないってことがあると思います。毎回同じこと言って申し訳ないですけど、ここはですね、今日教育長さんがいらっしゃってますので、市長さんときちんと話して平高をどう残すために教育委員会でどうするか、八幡平市としてどうするかということですね、もうちょっとお話ししていただいて、平高をバックアップしてもらえればいいんじゃないかなと思います。校長先生、忙しい中、あの東京フェスで行ってもらってありがたかったんですけど、文書見たら一名だけだっということだったんですけど一名でも私来ればいいのかと思うんですが、初めて行ったわけですから。その時にはO高校とT高校も行ったって書いて、今報告書を読んだら書いてありました。二枚目の記事はこれT高校のやつですよ。両方どういうふうやってるか、ちょっと読んでみてください。そこに書いてある通り普通のビジネスホテルみたいな感じの寮なんですよ。これバックアップしたのは市なんです。T高校じゃないんですよ。ですから、そういうやつがないと実際的に来る人たちって全部見ますから前も出した通り、学校の特色や、魅力化だけじゃなくて、自分が行った時にどういうところに住んで、どういう風になるのかとかですね。食事はどうなのかとかですね。そういうやつも花巻市のホームページに載ってますからみんな見るわけですよ。ですから具体的なものをこう見える化してという話し合いを、いましていましたけど、していかないと、せっかく関心持って見た人は情報が入ってこない。だから決められない。平高に行きたいというところに踏み出していけないじゃないかなと思う。そういう点ですね今日、教育長さんいらっしゃってますので、ぜひ市長さん含め八幡平市でどうするか、教育委員会としてどうやってバックアップするかっていうのをぜひ今日の会議

やなんかをこう踏まえて話していただければいいんじゃないかなとは思いますが。私たちが考えているよりすごく具体的に物事進めてますよね。そして、継続してそれなりに成果が出てきて、その20名を超えてってますよね。で逆にそれがだんだんに増えていって、それこそ口コミなんかで広がり、SNS見て広がっていったりして、定員を増やさなきゃいけないから山間地域の町みたいな話になるわけですよ。普通の人が考えたら山間地域に誰が行くのかと思いますよね。こんなこと言ったら申し訳ないですけどですけど、やっぱりそれ。これが現実で努力した成果をこういう形で出てるので、やっぱり平高としてもそこをなんとかしなきゃいけないんじゃないかなと思っています。私もあの二期連続でやらせてもらっているんで、なんとか平高を残さなきゃいけないと思ってるんです。いつもちょっと過激な発言して申し訳ないんですが、教育長さんがいらしているんで、あの市長さん含め、市としての体制、教育委員会的な体制、どうやって平高を残していくか、話して頂ければいいのかなと思います。あと、ホームページについてはすぐ変えられると思いますので。平高を残すという部分で平高のいろんな情報発信もですねホームページにやっていただければいいんじゃないかなと思います。すみません、いつも過激な発言ばかりで申し訳ありません。

(C委員)

- ・ 厳しい意見をいただいたなと思っておりますしそうあらねばならないだろうという気持ちでおります。二点お話をさせていただくとですね、地域みらい留学については今、市の財政課との方でも協議しながらですね。やはりこの寮なり宿泊施設を確保しない限りは前に進まないなという認識はしております。それで今、どこかを借りれないとか様々な方策を練っている段階であります。来年の4月になんとか間に合わせるように動いていければなというふうな思いではいるのですが、やはり親としても我が子を平高の方に向けようとする時には、やはり安心して泊まれること食べれること、そういう環境があるかどうかというのは、非常に大きな判断材料になろうかと思っておりますので、そこはまず何としても取り組んでいく必要があるなというふうに思っております。1人でも2人でもいうことは思うわけですが。もう一点。一番やはり肝心なのは地元の中学生たちにひらこの魅力をいかに伝え、そして足を向けてもらえるかとその部分の切り込みをもっともっとしていく必要があるなということはですね常々感じて、これまでも毎年ですね改善をしながら取り組みを進めてきています。広報八幡平に平高のページを作ったというのも、数年前から始めさせていただいておりますし、今回、中学校への入学説明会の折に、これまでの平高のページを特集したものをです

ねすべての中学生に配布しながら、実はあの平高通信の中身がとってもいいんですね
今入っている子どもたちの率直な声がどんな楽しい生活をしているか、どんなに先生
方にあたかく見守ってもらっているか、そういうのは本当にこうつぶさに出ている
ので、これこそやはり中学生に読んでもらって、自分のやりたいこと、そして夢を叶
えたかったら平高だよというのをですね、伝えていければなと思っておりますのであ
の広報を大事にしたいと思います。今ご助言ありましたように。ホームページ、これ
はすぐ帰ったら取り掛かりたいと思っております。八幡平市のホームページでも教育
委員会のホームページでもですね、どういうふうな形でかですね平高のことがもっと
前面に出るような取り組みは、ぜひしていきたいなと思って今ご意見を伺ったところ
であります。話戻りますが、中学生に平高の魅力を伝える。そして、やはり具体的な
ですね。実は今年校長先生にお願いをして中学校の説明会に早く入ってもらってるは
ずですね。昨年に比べて去年はちょっとあの後手に回ってしまってますね平高から説
明会に入った時には、もうその時点で進学先がほぼ決まっていたというようなこと、
それではやはり遅れるだろうと。もう中学生が今悩んでるまさにその時に入っていて、
平高の魅力を伝えていくとしかもできれば今現在の生徒さんたちの声で、先生の説明
だけではなくて生徒さんたちの声で後輩たちに伝えていくというような取り組みを今
年度は工夫していただいているところでもあります。ただそういった工夫しながらもで
すね、今年の入学説明会に参加者、先ほどのニュースを見て、私、非常に残念な思い
で伺いました。これしか足を向けてもらえなかったのかという思いでですね。ここに
どう切り込んでいくかですね。中学校の校長先生方には、平高のことをについて、校
長さん方同士の集まり、話し合いの機会も設けて何とかしていきたいというようなこ
とですね話し合いも設けておりますし、校長会議等々の時にも平高についての魅力を
私からも伝えたりをしておるんですけれども、それがどのようにすればもっと子供た
ちのところに保護者のところにですね。しっかりと伝わるかと いうあたり、もっとも
っと吟味しなければいけないなとこの数字を見て反省しているところでもあります。や
らなければならないことは山積みではありますが、少しずつ毎年積み重ねをしていると
してきていると、まあ、これはあの予算的にもですし、具体的な取り組みとしてもで
すしそういった部分についてはですね、どうぞあのご理解いただきながらですね今日、
いただいたご意見をさらに生かしてまいりたいというふうに思っております。

(Nオブザーバー)

- ・少し中学校の実態をちょっとお聞きしてみたい思いもあるんですけどね。よろしくお

願います。

(L委員)

- ・しゃべりにくいところもあるが、本校では6月27日に高校知る会ということで平舘高校の生徒さんも招いて、子供たちにはおそらく市内の中学校で一番早かったんじゃないかなと思うんですが、説明はさせていただいております。本校今度の土曜文化祭なんです。前の日金曜日が最後の総練習。準備等々ですが、その日ある高校の体験入学があって、実はそこに3年生、結構行くんです。74名中20何人、約1/3近くが行くという状況です。参加する時は、まあ学校早退して11時とかに出て早退して行ってしまうのでこれじゃ3年生、最後練習できないよねっていうことで、学校全体のスケジュールをもう変えなきゃいけないような状況なわけです。あまり行って欲しくないんです正直、でも行くんですよ。じゃあでもその27人いくうち受ける子は何人いるかっていうとまあ1人か2人が実際に受検するかどうかのところ。おそらくもしかしたらゼロかもしれないんですが、でもやっぱり興味があるっていうところかと思うんです正直なところ。やっぱり学校のスタンスとしては、平高さんのメリットはあのもれなく伝えておりますし。本当にお世話になっておりますので残ってほしいなと思っておりますが、ただその伝えた上で選ぶのは生徒なので、最終的な選択に関しては我々は何も言えないということ、そこは苦しいなとは思っています。さっきN高校の話も出たので、私、S中学校に実はいたんです。N高校に一番近い学校はS中学校で、近いのがS中とY中学校なんです。でもY中学校からはN高校にあんまり行かないんですよ、隣接市に行くんですよ。やっぱり土地柄でS中の子がN高校に来る率が高いんですが。今、N高校さんが増えてくるのは逆に隣接市から来る子が結構増えてるんですよ。その地域の高校事情はどうかっていうと、普通科、総合学科、工業科の高校があって、普通科の高校の次の候補となった場合はそれじゃあ、N高校さんかなっていう感じで、こう選択肢になってくるんですって、あのすごく支援をしてくれてるので、大学も狙えるよということで。土地柄的に八幡平市はどうかというと、やっぱり盛岡やっぱり選択肢に入ってくる。盛岡だと通えるのでN高校さんとかとはなかなかこう純粹に比較はできないかなって思います、土地的には。あとK高校さんもすごく地元が定着してますが、じゃあK高校さんからどっか行くかっていうのは、あの地域からどっか行くかなというのはなかなか苦しいので、あとはKもお金の支援はすごくしてくれてるんです。ものすごくくれこそ大学進学とか。医学部に入ってKに戻ってきてくれるのであればもうただ、ただとか全部町で支援するとかですね。なので、先ほどあの町とあの本当に手厚い支援をっていう話もありましたが、やっぱり本

当にお金をこうかけるとかです。ね何かこうないと選択肢の中に平高さんが中学生に本当に訴えるもの何かってなった時にやはり、子供は正直あまり考えてない、正直考えていない。私自身中学生の時も正直考えなかったです。将来何になりたいとかとかバフッとありましたけど、そのための一番近いルートはどうかとかそのためにはここがあっても私は考えなかったです。皆さんは考えたかもしれません。今、そうなった時にやっぱりなんとなくこうだなんて決めてる子がとっても多いので、そうなる何が、こう子供たちに訴えるのか難しいなあと。平高のこといい学校だと思うし、暖かいし、本当につくしていただいているので、でもそれが子供達にメリットとして伝わらないのが心苦しいなっていうのが接して思うところでもあります。ということであんまり解決策にならないですが現状はだいたいこんな感じなのかなと私はそう感じで捉えています。 (B委員)

・校長先生にお伺いしたいんですけど。15 ページの八幡平市広報は西中さんではそれはもちろん見てるけども、情報は何で得てるっていう回答は西中さんのパーセント。ここに先生方が載ってるっていう認識でよろしいですか。 (L委員)

・28の中に入っているというか、うちの職員がどのぐらいの割合で答えたか分からないんですけど、noteに関しては中学校の職員はあんまりどこの学校に限らず、noteに関してはあんまり知らないです。正直。別にこれは平高さんに限ってということじゃなくて、先生方 note 見ればっていうと見てないと思いますね。 (B委員)

・本日は話された中で現時点できそうな現実的な案として、やっぱりホームページのあの記載を多くしてもらいたいというのが今のところあの現実的なのかなと思われる。そうすると市の方をお願いという形にはなってしまうんですけども、平高の記事をもっと増やしてもらおうことを次の会までにお答えしてもらえようようにやってもらえればいいのかとおもうのですが、いかがでしょうか。 (L委員)

・これはすぐにやります。 (Nオブザーバー)

・平高の魅力を中学生が、実際の中学生在が描く魅力について、単に市から出たい県外に出たいという思いでこっちにこないだけなのか、その辺の実態がつかめていない人からちょっと乖離しているような人がこのアンケートを答えたり、実際のうんとオープンキャンパスにきていなかったりなのかなっていうのも理由だったりするのか。今日は少し時間が少ないので次回また、もむことができればいいのかと感じます。

それだけではなくても、今日この話の中で出た部分、大いにありますので校長、副校長話し合いながら、教育長さんとも詰めていただくことで、決めつけないということ

で今日は終わりでいいのではないか。

(E委員)

(4) 市長とのフリートーク参加報告について

- ・事務局から報告

質問意見特になし

(5) R6 高校コーディネーター研修について

- ・F委員から報告

・市への教育体制というところで。F委員さん今活動されていることが迷惑なんであればやめたほうがいいし、もっともっとやっぱりやってほしいし、先生方と生徒の間に入ってもらって、もっともっとやってほしいということが、平館高校の魅力につながっていくということがねこれだけは皆さん、今日はお話の中では総意のように聞こえてくるので。市役所さんにも金銭的な面ですね、ボランティアでやっていけるわけじゃないんで出してほしいっていうのが一番のテーマだったのではないだろうかと思います。この辺もオブザーバーNさんと合わせてどうぞよろしくお願いします。

(E委員)

(6) その他

- ・事務局からポスター（2種類）の紹介と学校公開等の案内

4 その他（各委員から）

・平館高校さんに来る時、いつもこう校門、どこの壁に素晴らしい？あの生徒さんの活躍が垂れ幕であるんですけども、あれ前私、ちょっと言ってたんですけど、あれを駅とか市役所とか、コミセンとか、多くの地域の人が集まる場所、そういう場所にもこう出してほしいっていう、いつだったか言ったことがありましたけれども、あの多分どこもいいよって言うてくれると思いますので、そういうのすごく乗った生徒も頑張ると思いますし、みんな市の人たちも頑張っているんだなっていうふうに思う、じゃないと全然気づかない人が多いと思いますので、それをお願いしたいなと思います。もちろん広報とかには載るとは思いますけれども。

(I委員)

・お願いなんですけども、副校長先生、大変忙しくて申し訳ないですが、これだけの資料だと当日見て深い意見をつけて言われても、ちょっと大変ですよ。ですから1週間ぐらい前とか事前送付して見てもらい、この会議で意見をいただいたり提案してもらった方が、今のところに全部読んで速読して参加するのは、とても大変ですよ。ですから、ちょっとただの学校忙しくて先生も大変だと思うんですけど、一週間ぐら

いの前にはこういう形でこの資料で会議をするのでっていうような形で送ってもらえれば、皆さん見ている、それなりにこう思いとか、質問とか意見が出やすいと思いますので、もしできたら大丈夫ぐらいまでには資料送っていただければと思います。

(E委員)

- ・授業の感想だったんですけど、こんなに少ない人数でやっているんだなと。先生とマンツーマンみたいな感じでやっていると。ちょっと驚きました。思わず人数数えちゃいました。それがちょっと今日一番の印象でしたけれど、その中にあのどこか忘れたけど、あのもう早い時期からやっぱり高校の平高の中身を教えたほうがいいというのをごめんなさいどっかに書いてあったんですけども。あ、そうだよなあと思って。うちの話で申し訳ないんですけど、うちの中学校一年生の時にボランティアに来た男の子がうちは障害の施設なんですけどあのなんてやってるなんというか、派遣に来た子がいたんです。その子が今度、高等部の三年生になって、やっぱり進路っていうのがあって、いろんところその子も見学に行ったんですけども、やっぱりその中学校一年生の時。今も忘れられないという理由でそれお母さんとも聞いたんですけど、うちの方に来年から入ってくれるっていうことだったので、やはり印象的なこと、印象に残っていることっていうのかな。やっぱりずっと思っているんだなと思って。ちょっと感じたところなのであの小学校だと、ちょっとあれかもしれないけど、でも中学校は別に3年生に限らなくて、やっぱり1年生はまだあれかもしれないけど、2、3年になるとその進路をなんとなく感じてくると思う。その辺の当たりの人たちにも何かアプローチできるといいのかなと思ってちょっと今日は聞いてました。ありがとうございます。

(G委員)

- ・毎回いろいろあのご意見いただいて新鮮。鈴木さんからもお話ありましたがPTAの口コミっていうのも非常に大事なところがあるかなって感じております。そういったPTAの口コミしていただけるような活動を確保ともしっかりとしていきたいなと思っています。ありがとうございます。

(M委員)

- ・校長先生の前に、来年度の予算に関わって。そろそろもう具体の協議に入っていくわけですが、あの。要求要望を受けたこともすべてというわけにはなかなか回らないんだとは思いますが、これだけというふうな部分はどうぞ具体でお示しいただいて、十分に協議をさせていただきたいというふうに思っております。先ほどコーディネーターさんの部分が云々という話もありましたそういう具体の話ぜひお願い、これから協議をお願いしたいと思います。いずれ市としても教育委員会としても

ですね平館高校さんのこの八幡平市における意味、意義いというのは本当に大きなものでこれからもずっとずっとですね、継続して発展していつてもらいたい存在であるということですね。これはもう言うまでもないことですので、最大限の応援はしていきたいというつもりでおりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(Nオブザーバー)

校長からお礼の挨拶

本日も大変ありがとうございました。具体的にいただいた話ですぐ形にで

きるものとですね、ちょっと自分の中で練ってというところちょっとあります。例えば第一回であれば、SNSの情報発信というところですね。いろいろ

発破かけていただいたところですけど、その辺は今、協議しているというよ

うな状況です。それから情報をいかに届けるかがずっとテーマなわけなんです

けれども、今回ですね、中学校の先生方にアンケート取ったのは1日体験入学の申し込みがあまりにも少なくてですね、最初中学校の校長先生方からいろいろ意向を聞こうと思ったんです。こういうことを聞きたいなって相談した副校長に相談したところ、どうせだったら中学の先生の方に聞いてはいいんじゃない

ですかみたいな話になってそういう形で情報の届け方あるなっていうことで思って実施しました。やっぱりいろいろいただいた話の積み重ねの中で出てきたいアイデアを形にするといった意味では本当にですね、この会議はすごく助けになってます。市の方にもですね、気兼ねなく行けるのもバックア

ップがあってですねいつも行っているいろいろお話しさせていただいてるんですけども、

そういったようなところですね皆さんの後ろ盾になっていただいたなということです。

ただ、八幡平市さんは本当にですねすごく応援してくれてまして、地域みらいの住むところにしたときも、まあこの前、市長さんも直接来て、紫薫館見られたんです。同窓会館見られたんですけども、残念ながらすご一回土砂崩れとか起きた場所で、

災害区域というなんか指定区域ということで住むには適さなかったということになりました。ただ、そのあと、別の施設とかですね企画・財政課長さんと一緒に行かれたということなんです

ね市長さん自ら足を運んでいろいろ協力体制やってもらってますし、市のホームページの方もですね、地域みらいやる時に、本校のリンクを貼ってもらってる状況でホームページからうちの学校の情報にもアクセスできるというようなことも協力して

いただいているんです。I 委員さんから懸垂幕の駅とか公共施設設置、考えてみれば私も前任校でもありました。そういえばはいやってみました。使う駅とかですね、こういうことは本当に進める中で形にできそうだな、なんていうことを考えたしだいです。会長さんから資料を PDF でっていうところズバツと言っていただいてありがたいな、助かります。そういう形で、早めの情報共有ですねやっていければいいかと思います。今日も本当にいろいろ貴重なご意見いただいたり本当に感謝です、本当にありがとうございました。